

## ゼクシィ

### 『ゼクシィ』新婚女性に聞いた新生活調査 うれしかったことは「何気ない時間」 ケンカの原因1位は「家事の分担」

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が発行する結婚情報誌『ゼクシィ』は、「新婚の新生活」について入籍から3年未満の20代～30代の女性100人にアンケート調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

#### ■新婚の新生活でうれしかった1位は「何気ない時間」 ケンカの原因1位は「家事の分担」

新婚時の新生活でうれしかったことの質問では、「幸せな何気ない時間が増えた」と「一緒に過ごせる時間が増えた」が同率65%の1位で、具体的な物事よりも新生活そのものを楽しんでいることがわかりました。

一方、いやだったことでは「いびきがうるさい」が26%で1位に。ケンカの原因になったことでは、「家事の分担が公平でない」が16%で1位、「お金の価値観の違い」が13%で3位となり、うれしかったことに比べて具体的で現実的な内容が多い結果になりました。さらに詳しく調査してみると（詳細次ページ）、お金の価値観については電気代や水道代が1位2位を占めており、日常生活での細かな気遣いがケンカしないために大事であることがわかりました。

#### ●選択肢

うれしかったこと：一緒にご飯を食べられる頻度が増えた、家事の負担が分散した、家計の負担が分散した、性生活が充実した、幸せな何気ない時間が増えた、家に帰ると誰かがいてくれる、さみしさが減った、話し相手ができ、防犯上安全性が高まった、一緒に過ごせる時間が増えた、あてはまるものはない  
いやだったこと・ケンカの原因になったこと：体臭が想像よりきつかった、おならをされる、口臭が想像よりきつかった、いびきがうるさい、トイレを座ってしてくれない、脱いだものをそのままにされる、味の好みの違い（ごはんの炊き具合など）、冷暖房の設定温度、テレビやスマホばかり見ていて二人の会話が少ない、帰る時間などの連絡がこまめでない、家事の分担が公平でない、言葉遣いが悪い、想定していたより一緒にいる時間が短い、義理の家族とのつき合い、お金の価値観の違い（電気・水道代・食費や趣味などへの無駄に感じるお金の使い方）、あてはまるものはない  
※「あてはまるものはない」「その他」はランキングから除外

Q.一緒に暮らし始めてうれしかったこと、いやだったこと、ケンカの原因になったことはなんですか？  
(n=100、複数回答)

新婚新生活でうれしかったこと		
順位	内容	%
1	幸せな何気ない時間が増えた	65.0
1	一緒に過ごせる時間が増えた	65.0
3	一緒にご飯を食べられる頻度が増えた	60.0
4	話し相手が出来た	49.0
5	さみしさが減った	46.0

新婚新生活でいやだったこと		
順位	内容	%
1	いびきがうるさい	26.0
2	家事の分担が公平でない	24.0
3	義理の家族とのつき合い	23.0
3	お金の価値観の違い	23.0
5	脱いだものをそのままにされる	20.0
5	味の好みの違い	20.0
5	テレビやスマホばかり見て会話が少ない	20.0

新婚新生活でケンカの原因になったこと		
順位	内容	%
1	家事の分担が公平でない	16.0
2	義理の家族とのつき合い	14.0
3	お金の価値観の違い	13.0
4	帰る時間などの連絡がこまめでない	11.0
5	脱いだものをそのままにされる	10.0

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【アンケート調査概要】

- 調査時期：2022年3月3日～2022年3月4日
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国の入籍から3年未満の20～30代女性（株式会社アスマークの登録モニター）
- 有効回答数：100人

■アンケート調査結果

■新婚の新生活「お金の価値観の違い」を感じるのは電気代・水道代

「お金の価値観のギャップやいやだったこと、ケンカになったことはありますか？」という質問では、上から電気代、水道代、食費という結果になりました。具体的には、電気代については「すぐ寝ると言いながら、居間で居眠りを始め電気をつけっぱなしに」「冬場に薄着で暖房の設定温度をかなり上げている」といった回答があり、水道代については「洗い物中水を出したままする」「きちんと閉めておらず、水が出っぱなしになっていた」という声が挙がりました。

Q.お金の価値観のギャップやいやだったこと、ケンカになったことはありますか？（n=100、複数回答）

お金の価値観の違いを感じたこと		
順位	項目	%
1	電気代	10.0
2	水道代	7.0
3	食費	6.0
4	ガス代	3.0
5	交際費	2.0

●選択肢

洋服、電気代、水道代、食費、ガス代、交際費、家賃・住居費、美容代、その他の趣味への投資  
※「特になし」はランキングから除外

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>